

高校7人制ラグビー 土佐塾が初代王者

今夏初めて開催されるラグビーの全国高校7人制大会（7月19、21日・長野県上田市）の県予選が18日、春野多目的広場

▽リーグ 土佐塾47-12中央
 ▲土佐塾66-0高知工▼中央38-12高知工
 【順位】①土佐塾2勝②中央1勝1敗③高知工2敗



【土佐塾—高知中央】前半、土佐塾の武田が中央のディフェンスを振り切り独走し、トライを挙げる（春野多目的）

で行われ、土佐塾がリーグ戦で2勝して、初代王者となり、全国大会行きを決めた。

土佐塾のほか、高知中央、高知工が参加し、総当たりのリーグ戦を行った。土佐塾は初戦の中央戦から、BKの走力を生かして、試合を優位に進めて47-12で快勝。高知工

新たな目標に意欲

初7人制全国大会の切符は土佐塾がつかんだ。2試合とも完勝した土佐塾の西村監督は「夏にも全国で戦えるのは意味がある」と新たな目標

に意欲を見せた。

BKの走力を生かして、トライを重ねた土佐塾だが、15人制のように密集に人が集まり過ぎて、ボールを広く動かさない場面も。「7人制の練習は全然してなかった」という西村監督は「ランニングやパスなど、個人の技術を伸ばしたい」と全国を見据えた。

（吉川博之）

高知新聞社許諾済